

田んぼに登場 ナウマンゾウ

化石発見の中央区・伊佐見地区初企画

浜松市中央区伊左地町の伊佐見協働センターに隣接する田んぼで、伊佐見地区コミュニティ協議会が手がけたナウマンゾウの田んぼアートが見頃を迎えている。10月中旬ごろまで観覧やぐらを設置している。



ナウマンゾウを表現した田んぼアート。浜松市中央区伊左地町

1921年に浜名郡伊佐見村佐浜（現浜松市中央区佐浜町）で発見された化石が24年「ナウマンゾウ」と命名されてから100周年を迎えることを記念し、初めて企画した。約14㌥の休耕田に、2色の稲でナウマンゾウや「いさみ」の文字などを描いた。高さ約

5㌥のやぐらからは、アートを一望できる。同協議会の加藤吉隆理事は「地区の人々に集ってもらい、歴史を知ってもらおう機会にしたい」と話している。

11月に収穫したもち米で餅つきなどを行う予定。（浜松総局・山川侑哉）

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①写真の田んぼ描かれている「いさみ」を漢字で書きましょう。（ ）
- ②発見された化石がナウマンゾウと命名されてから何周年を迎えましたか。（ ）周年
- ③この田んぼアートにナウマンゾウを描いた目的の記事から読み取って書きましょう。（ ）
- ④田んぼアートはどのようにして描きますか。記事を参考に20字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

					5				10
					15				20

年 組 名 前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏
（小学校高学年～中学校／生活、国語、理科、社会、総合）

田んぼに登場 ナウマンゾウ

化石発見の中央区・伊佐見地区初企画



ナウマンゾウを表現した田んぼアート。浜松市中央区伊佐見地区

浜松市中央区伊佐見町の伊佐見協働センターに隣接する田んぼで、伊佐見地区コミュニティ協議会が手がけたナウマンゾウの田んぼアートが見頃を迎えている。10月中旬ごろまで観覧やぐらを設置している。

1921年に浜名郡伊佐見村佐浜（現浜松市中央区佐浜町）で発見された化石が24年「ナウマンゾウ」と命名されてから100周年を迎えることを記念し、初めて企画した。約14㌶の休耕田に、2色の稲でナウマンゾウや「いさみ」の文字などを描いた。高さ約

5㍍のやぐらからは、アートを一望できる。同協議会の加藤吉隆理事は「地区の人々に集ってもらい、歴史を知ってもらう機会にしたい」と話している。

11月に収穫したもち米で餅つきなどを行う予定。（浜松総局・山川侑哉）

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①写真の田んぼ描かれている「いさみ」を漢字で書きましょう。（ **伊佐見** ）
- ②発見された化石がナウマンゾウと命名されてから何周年を迎えましたか。（ **100** ）周年
- ③この田んぼアートにナウマンゾウを描いた目的の記事から読み取って書きましょう。
(例)
地区の人々に集ってもらい、歴史を知ってもらう機会にする目的。
- ④田んぼアートはどのようにして描きますか。記事を参考に20字以内で書きましょう（句読点を含みません）。

(例)
色の違う稲を植えることで絵や文字を描く。（20字）

年 組 名 前